

## 大阪北部地震体験記

2018.6.18 AM7:58 発生

(2日目)2018.6.19

震源地は、高槻市と茨木市の中間点とか言っていますので、私のマンションはほぼ震源地に近いのでしょう。

ドーンと突き上げるような縦揺れで、「地震だ」と思った時はすでにもものすごい揺れでした。

そして、これでもかというように揺れて、本棚の上の物が落ちたり、額縁も落ちたり、吊った植木鉢が揺れて砂をまき散らしたり…凄かったです。

ただ、阪神淡路大震災に比べて、強い揺れではありましたが、時間的には短かったような気がします。

幸い家族の皆は怪我も無く、その日の午後には片づけも終わりました。

被害は、食器類や置物やコーヒーサイフォン等が壊れました。

マンションは、昭和55年2月建築ですので、旧耐震です。

今年築38年になります。

既に第3次大規模修繕工事が終わっていますので、維持管理は良い方だと思います。

ただ、耐震診断の結果はあまり良い方ではありません。

Is値は、X方向は0.383、Y方向は2.016です。

Y方向は南北ですので、多分阪神淡路大震災はY方向で、今回は若干X方向だったような気がします。

それでも震度6弱に耐えましたから、「地震に自信ができました。」

エレベーターが自動的にストップしました。

ペースメーカーを付けた住民が2人、7階と8階に居住しております。

命にかかわることですので、業者に強く要望しましたところ、18日深夜に復旧工事をしてくれました。

あとはガスですが、これは大阪ガスを待つしかありません。

全部で8棟の団地型ですが、内4棟は水道がストップしているようです。

集会所の水道とトイレを開放しております。

私の棟は、水道は出ますが、エントランスを出た石段あたりにヒビが出来ました。

ガスがいつになったら使えるか分かりませんので、すぐに家電のコジマに行きました。

10人ほどの列ができており、1人ずつ係員が付いて中に入ります。

なぜ入場制限をしているのかと思うと、実は階段に大きなヒビが出来ており、「足元にお気を付けください。」と係員に言われました。

IHクッキングヒーターとコーヒーサイフォンを購入して帰りましたが、多分この日のうちにIHクッキングヒーターはすぐに売り切れただろうと思います。

その日の夕方には、管理組合の役員さんが被害調査で全戸訪問していました。怪我をされた方も数人いたようです。

「震度6弱は、生涯1度は起こる」と言われますが、本当に起こりました。

またあるかもしれませんね。

皆様もご用心してください。

### **(3日目) 2018.6.20**

雨が降ると目立つのが、ブルーシートです。

古い瓦の家でよく見かけます。

スーパーに買い物に行くと、震災独特の現象があります。

震災当日は、弁当、寿司、パンなどが、きれいに売り切れています。

菓子売り場でも一つの傾向があります。

お菓子の中でも、バウムクーヘンなどはパンの代わりにと買って行きます。

レトルト食品などもよく売れています。

ガスと水道が止まれば、このようなものを買うしかありません。

昨日お伝えした家電の店では、ほとんどの方がカセットコンロと補充用ボンベでした。

これらもあつと言う間に売り切れます。

やはり、普段の時に購入しておくべきでしょう。

ガスが来ないと困るのはお風呂です。

我家では、鍋に水を入れて、カセットコンロで沸かした湯を10杯ほど風呂に溜め、それで身体を洗いました。

お湯と言っても、湯船に入れれば20cm位の深さしか溜まりませんが、真冬でないので我慢できます。

茨木市では今日の午後3時から、自衛隊によるお風呂のサービスが始まります。

近くの公園に来るそうです。

私の団地も8棟の内、4棟が断水しましたが、内1棟が復旧したそうです。

ガスは今現在、高槻市で46,240戸、茨木市で64,406戸がまだ供給停止になっています。

他の事業者からの応援も得て、6月26日から30日を目途に再開できるように取り組んでいるそうですが、とても長く感じます。

私の団地は、下の地図の紫色の部分です。



水道が止まっている所は、もっと大変でしょう。

非常用トイレを普段の時に購入しておくことをお勧めします。

凝固剤などが付いて 3,000 円位で売っています。

我家も購入しておりますが、まだ使ったことはありません。

やはり、普段の準備が必要ですね。

#### (4日目) 2018.6.21

今日は集会室を覗いてみました。

理事長を始め、理事数人が集まって、色々と連絡を取り合ったり、相談したり、走り回っていました。

まさに、対策本部です。

水道は今日で全番館復旧しましたが、それまでは大きなポリバケツに集会所等で入れた水を、各番館のエントランスまで役員さんたちが荷車で運搬したそうです。

各家庭の人たちが、それを酌んで各家庭に持ち込んだそうです。

大変な苦労をされたようです。

ところが、新たに1つの番館で敷地内の漏水が見つかりました。

水圧が下がるとその番館は水道が止まるかもしれないということです。

念のために、集会室は今夜もトイレ等のために開放しておくようです。

近くの公園で、自衛隊が準備したお風呂があるので、行ってみました。

タオル、石鹸、シャンプー、洗面器も家から持参です。  
私が行く前に安倍総理が見えていたそうですが、私が行った時は、犠牲者の出た高槻市の小学校に向われたそうです。  
「六甲の湯」と暖簾が下がっていて、女湯は男湯の3倍から4倍の長さの列でした。  
男湯の列に並んでいると、5分ほどで中に入れました。  
出ていく数だけ、中に入れてもらえます。  
脱衣籠をいただいて中に入りました。  
15人位が脱衣できる広さがあります。  
脱衣して中に入ると、2つの浴槽があり、20人位は入れそうな広さがありました。  
シャワーは10人が使えるようになっていました。  
お風呂に浸かり、久々にのんびりと入浴できました。  
「そうか、俺は被災者なのだ。」と思いました。



ガスはまだまだです。  
何故、茨木市の北部から工事を進めているかというと、モノレールや阪急電車の山田駅の近くに大阪ガスのタンクがあり、そこからガスが流れているので、その流れに沿って点検工事がされているとのこと。

だから、茨木市の南部にある私のマンションは、最後の方になるわけです。  
どうやら、25日(月)までかかるらしい。

家庭で準備しておくものは色々ありますが、①非常用トイレ、②水を入れるポリ容器、③カセットコンロと補充用ボンベ、④IHクッキングヒーターは最低限必要だと思います。⑤水を運ぶ荷車もあると便利ですね。

そして、今回の震災で思うのは、「情報」です。

家から一歩外に出ると、色んな情報が手に入ります。

さらに、日ごろのお付き合いがある友達が多ければ多い程、多くの情報が入ります。

日ごろのお付き合いが大切だと、つくづく思いました。

だから、最後の1つは、⑥「普段の友やご近所の皆さん」による「情報」ですね。

社会福祉協議会から、お年寄りなどで一人では片付けが出来ない方のために、ボランティアで家の片づけをしますという話も聞きました。

一方、高い値段を吹っかけて商売をしている輩も多いとのこと。ご用心ください。

#### (5日目) 2018.6.22

散髪屋さんが営業しています。

聞いてみると、「ガスが使えませんので、洗髪だけは出来ません。ごめんなさい。」と言う事です。

散髪をしてもらったら、200円割引していただきました。

どうせこの後私は、自衛隊のお風呂で洗髪するから、どちらでもいいのです。

今日も自衛隊のお風呂に行きました。

とても良いお風呂です。

茨木市の方は、どうぞいらしてください。

近鉄「水尾循環」のバスに乗って、「若園バラ園」で降りていただくとすぐに分かります。

震災の被害状況というものは、震災直後では気が付かないものがあります。

交通事故に遭ったら、すぐに加害者に「大丈夫です。」と言わないようにと教えられた。

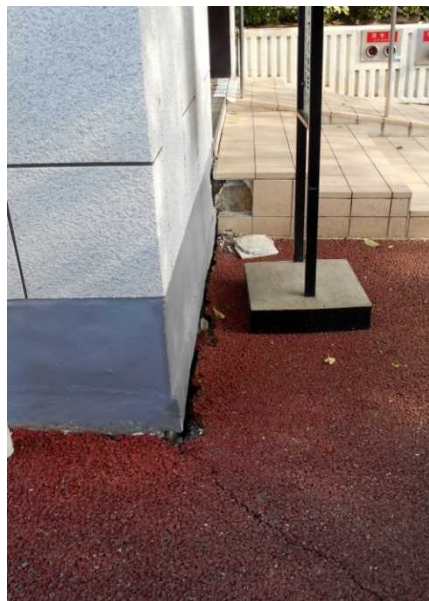
後でよく見ると怪我をしていた…それと同じ理屈です。

注意深く観察すると、あちらこちらに震災被害があります。

我家も、食器棚のガラスにヒビがあるのを、今朝になって見つけました。

団地内を廻ってみると、左の写真のようにジョイント部分にヒビがあるのを見つけました。

また、右の写真はエントランスの出口です。左側が東、右側が西ですから、この地震で東西に強く揺れたものと考えられます。南北にも揺れて倒れたものもありますが、東西の揺れの方が強かったように思えます。



各戸の被害もあるようです。

トイレの壁にクラックが現れた部屋もあるそうです。

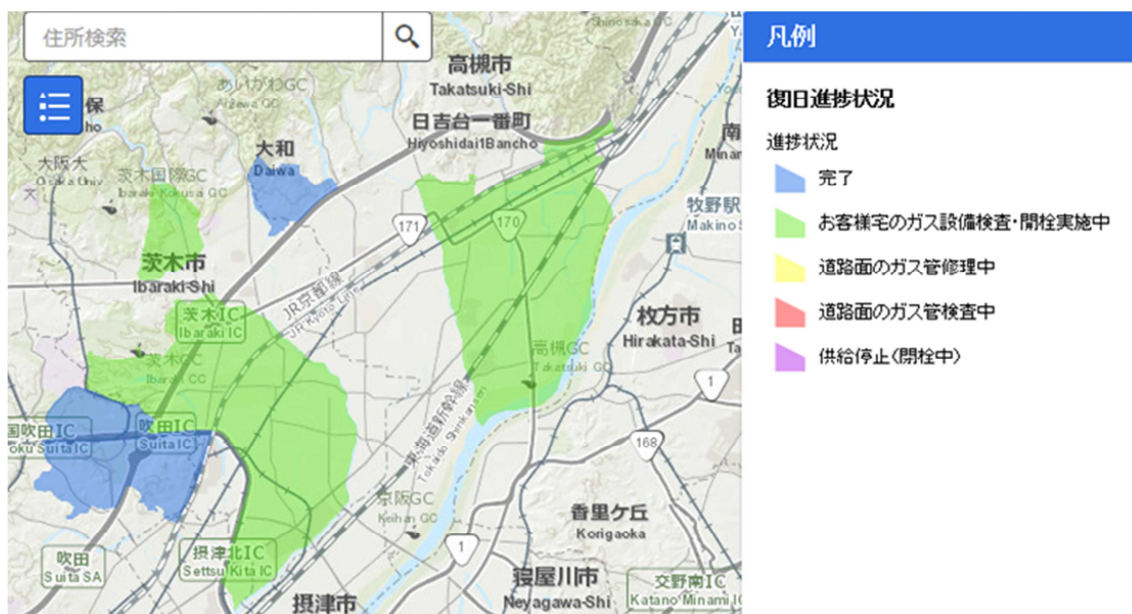
時間が経過するにつれ、色々な被害が見つかりそうです。

(6日目) 2018.6.23

大阪ガスの復旧進捗状況が気にかかります。

ホームページを見ると、緑色に変わりました。

最初は紫でしたが、赤、黄を過ぎて緑になりましたので、あと一歩です。



市のホームページなどにも多くの情報が掲載されています。  
カセットコンロや補充用ボンベを大阪ガスが無償で配布しているとか、ブルーシートを無償で配布しますとか、有益な情報が掲載されています。  
パソコンやスマホのある家庭にしか情報が入ってこないのは少し不公平のように思えますが、やむを得ないというのが現状なのでしょう。  
マンションの中でも、掲示板やエレベーターの近くに、管理組合が「震災情報」として色々と掲示しています。  
これらも積極的に読んで、目を通しておきましょう。  
「震災時の情報」はとても大切です。

色々な人と会い、話をお聞きすると、我家の被害はましな方で、食器類がほとんど割れたとか、本棚が倒れてきて危なかったとか、テレビが倒れて壊れたとか聞きます。  
また、慌てて隣の部屋に行くと蛍光灯が落ちて割れていて、足にガラスが刺さったとか、倒れた食器棚を起こそうとしたら手にガラスが刺さり怪我をしたとか、しかもペースメーカーをしている為、血液サラサラの薬を飲んでいるので血が止まらないので苦労したとか、それは、それは色々なご苦労があったようです。

我家では、地震があった時、私は自分の部屋にいましたので、家族の者には「慌てて動くな！」と、まず言いました。  
揺れが治まった後に家族のいるリビングに行きましたが、まずは①スリッパを履きました。

家族にもスリッパを渡しました。  
そして、家族に怪我の無いことを確認して、散らばった物を片づける時は、必ず②軍手をしました。「スリッパ」と「軍手」は、必需品だと思います。

何よりも、家具や本棚や食器棚が倒れないように、普段固定しておくことが一番のように思えます。

最初の写真は食器棚ですが、つっぱり棒をしています。  
これだけでは不十分かも知れません。  
ご近所の家では、このつっぱり棒が揺れている途中で、パキンと外れて跳んで行ったという話を聞きました。  
我が家では、この写真では見にくいかもしれませんが少し拡大をします。つっぱり棒の右下に「木の棒」を切ったも



のを詰めているのがお分かりでしょうか。ホームセンターなどで木の棒を売っていますので、隙間の幅に合わせて切ってください。

古いマンションの造りですので、部屋の片隅にコンクリートの梁があります。邪魔なようですが、逆にこれを利用して、この隙間に合わせて切った棒を詰めているのです。

皆様の部屋にこのような梁があれば、これはお勧めです。

だから、地震の時はびくともしませんでした。

次の写真は、冷蔵庫です。前のカバーを外すと冷蔵庫を止めるネジがあります。

これを閉めておくとローラーが効かず、前に飛び出したりしません。

冷蔵庫が飛び出して、蓋が開き、中の物がこぼれて、玉子などが散らばったというご家庭もあったようです。

冷蔵庫は、しっかりと固定しておきましょう。

もちろん冷蔵庫の上の部分も、先ほど説明した木の棒などで固定しておきましょう。

そして、次の写真は本棚のようなものは下にストッパーを入れておくことが大切です。

これも上の部分は、木の棒で固定していますので、本が落ちることはありませんでした。

大した効き目が無いように見えても、①ストッパー、②つっぱり棒、③固定具など、複数の器具で固定しておくと、それなりの効果があると思います。

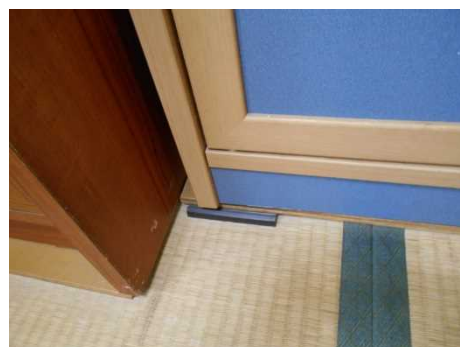
テレビも足に粘着性のあるものをセットしてただけで、倒れませんでした。

タンスは出来ることならやめて、クローゼットにすると安全です。

なるべく何も無いのが安全です。

普段の準備が必要だと考えます。

震災後、注意することが一つあります。「何事もなかった。」と安心せず、棚を開ける時は静かに開けましょう。開けた途端に、中から土鍋などが落ちてくる場合があります。扉の前に、たくさん物が集まっていることがあるからです。ご注意願います。





(7日目) 2018.6.24

昨日、夕方6時過ぎに「東京ガス復旧開栓班」の方々が見えました。

一軒一軒廻って開栓をしているとのことでした。

ところが我家のメーターボックスの中を機械で調べてみると、ガスメーター付近でガスの漏洩反応があったそうです。

この部分は「内管」と言って、応援部隊である東京ガスはこれ以上触れないとのことでした。

「追って大阪ガスの方が見えるので、少しお待ちください。」とのことでした。

ご近所の友達からは、「ガスが使えるようになった。今から風呂を沸かす。」などと電話があって、我家だけイライラしていたのですが、夕方8時過ぎて、大阪ガスグループの「きんぱい」の方二人がお見えになりました。

ガスの開閉栓の部分のグリスが少なくなっているのを、グリスを塗りこんで修理をしてもらい、室内のガス栓に血圧計のような機械を差し込んで、ガス圧力テストをしました。最後に点火テストをして、「これでご安心してお使いいただけます。」と言われた時は、作業していただいた方から後光が差ししてきたように感じ、ホッとしました。

私のマンションの棟は全部で81戸ありますが、この内3戸だけが修理工事が必要だったとのことでした。

「あと1戸修理して今日の仕事は終わりです。」とおっしゃって帰られました。

遅くまで、本当に、本当にご苦労様でした。



震災から時間が経つにつれて、色んな人から色んな情報が入ってきます。

水道管が壊れて部屋の中が水浸しになった部屋があるといった話も聞きました。

管理組合としてはこれらの情報を収集して、保険会社に問い合わせたり、建築設備の業者に連絡したりと大変なことと察します。

近隣の学校が避難所になっており、避難されている方々もおられるそうです。

阪急電車の南茨木駅では、エレベーターやエスカレーター、トイレなどが損傷して、利用できない箇所があるとのことでした。

我が家の被災状況を見るだけで、今回の震災を語るわけにはいきません。

被災地域は阪神淡路大震災に比べて狭いかもしれませんが、想像以上に大きな被害を受けた方々がおられるようです。

心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を期待したいと思います。

(8日目) 2018.6.25

今朝の朝日新聞に、「大阪府北部を震源として18日朝に起きた最大震度6弱の地震(マグニチュード<math>M>6.1</math>)では、全壊家屋は少ない一方、ブロック塀や家具が倒れるなどして府内で5人の命が奪われた。専門家は短い周期の揺れが強かったためとみている。」と書かれていた。

つまり、ゆったりとした長周期の揺れは建物被害が起りやすく、0.5秒以下の短周期の揺れが今回の揺れらしい。

そして、専門家が、「今回、壊れなかったからといって耐震性が低い建物が震度6弱に耐えられるとは思わないほうがいい。」と指摘しているとのことだ。

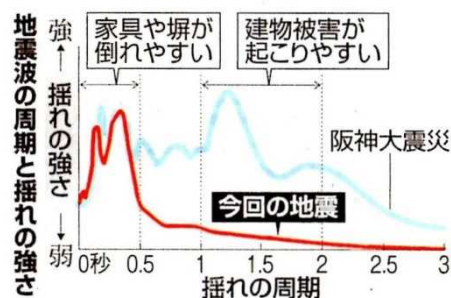
私が、『震度6弱に耐えましたから、「地震に自信ができました。』』と書きましたが、この考えは間違いらしい。

管理組合理事長とお話しをする機会があった。

各家庭から被害の情報がいくつ位上がっているかとお聞きしたら、「大小合わせて50件から60件」だそうだ。

私の団地は全部で817戸だから、7%前後の部屋に何らかの被害があったことになる。

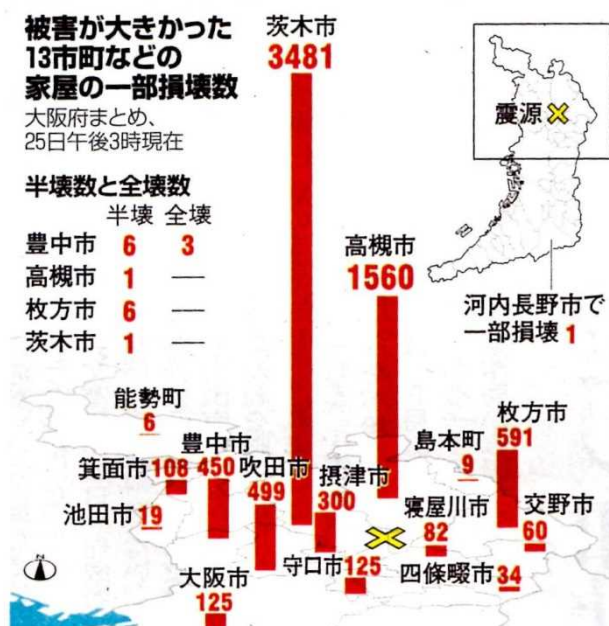
来週には、前回の大規模修繕工事を担当した建築会社に来て、震災による建物の検査をしてくれるそうだ。



(9日目) 2018.6.26

今朝の朝日新聞に、「総務省消防庁のまとめでは、住宅被害は大阪府で全壊3棟、半壊14棟、一部損壊7450棟。」と書かれており、一部損壊の市町別のグラフがあった。何と、茨木市が3481棟と最高だ。大きな震災だったのだ。

ご近所の方で、熱帯魚の水槽が壊れ、仕事から帰ってみると畳が水浸しになっていたとの話を聞きました。



普段の水槽はなかなか良いものだが、震災に遭った時は大変だ。

「震災詐欺」がいるらしい。

「ガスはもう来ましたか？」と聞いて廻って、「まだです。」と答えると、「開栓します。」と言って、高額な手数料を取るという手口らしい。

そういえば、我家も開栓後、別々に3人から「ガスはもう来ましたか？」と聞いてきた。

「横の連絡が悪いなあ」と、家族で話していたけど、あれはもしや…。

皆様もお気をつけください。

### (10日目) 2018.6.27

今朝の朝日新聞では、「住宅被害 1万棟超」と書かれていて、昨日よりもまた増えている。

「大阪、京都、奈良、兵庫で全壊 3棟、半壊 19棟、一部損壊 1万802棟の計1万 824棟が被害を受けた」のだそう。

「一部損壊の内訳は、茨木市4152棟、高槻市2930棟」だそう。



震災に伴う臨時のゴミ回収をしていただけるようだ。

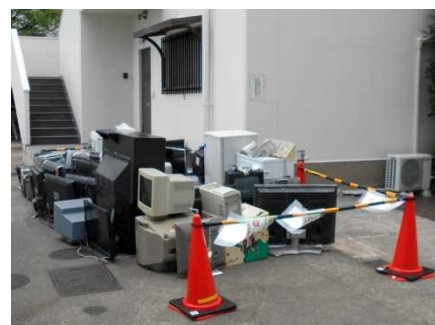
対象は、家具類と電化製品だ。

私の棟(81戸分)のゴミステーションだけでも、これだけの家具などが出されている。

全団地(817戸分)の電化製品は、集会所の近くに集められた。

テレビやパソコンなどがたくさん出されている。

これだけでも被害の大きさがよく分かる。



### (11日目) 2018.6.28

管理組合が作成した「地震被害調査アンケート」が全戸配布されていた。

管理会社が緊急外観目視点検をしてくれたようだ。

ただし、バルコニー側は確認できないので、アンケートをするとのことだ。

こうして、建物の全体を把握しようとしている。

大事なことだと思う。

住民である我々も、改めてベランダに出て点検してみよう。

よく見ると何かが見つかるかも知れない。

## 地震被害調査アンケート

2018年6月18日に発生しました大阪府北部を震源とする震度6弱の地震で、当マンションの共用部分について、目視で確認できる範囲で管理会社が緊急外観目視点検を実施していただきました。

ただし、バルコニー側は確認できませんので、その他の項目もあわせて、本アンケートにご協力をお願いいたします。

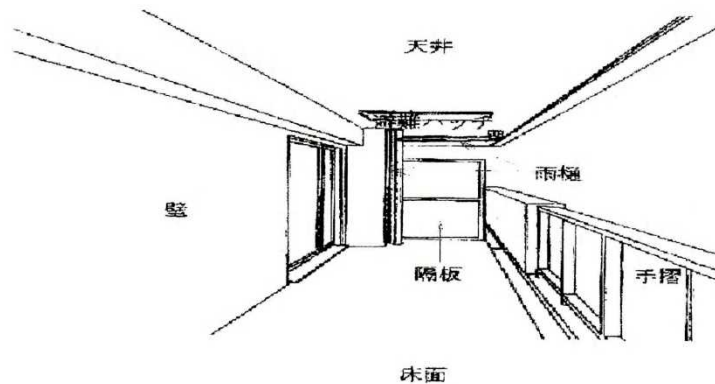
2018年7月8日（日）迄に各番館管理組合ポストまでご提出をお願い致します。

### 記

1. バルコニー（共用部分）の被害について、該当する方に○印をお願いします。

- ・天井にひび割れなどはありませんか。 ( あり ・ なし )
- ・壁面に塗装・タイルのはがれ・ひび割れはありませんか。 ( あり ・ なし )
- ・床面に不具合が見受けられますか。 ( あり ・ なし )
- ・手摺り根元廻りにひび割れはありませんか。 ( あり ・ なし )
- ・手摺りに破損している箇所はありませんか。 ( あり ・ なし )
- ・避難ハッチ、雨どいの周辺に異常はありませんか。 ( あり ・ なし )
- ・その他、不具合箇所等がありましたら余白にご記入ください。

各建物部位について、以下参照ください。



2. その他の被害状況について、該当する方に○印をお願いします。

- ・玄関扉の開閉に問題ありませんか。 ( ある ・ ない )
- ・玄関枠が変形していませんか。 ( ある ・ ない )
- ・玄関枠角の壁に亀裂がありませんか。 ( ある ・ ない )
- ・窓の開閉に問題がありませんか。 ( ある ・ ない )
- ・サッシ枠が変形していませんか。 ( ある ・ ない )

3. その他、お部屋内、建物、附属施設、設備、敷地などで、お気づきのことをお知らせください。

住戸番号 5 号室 記入者 \_\_\_\_\_ (□所有者 □賃借人)

連絡先 (自宅 \_\_\_\_\_ 携帯 \_\_\_\_\_ その他 \_\_\_\_\_ )

ご協力ありがとうございました。

### (15日目) 2018.7.2

昨日の新聞では、近畿2府2県の住宅被害の合計は、2万2497棟になったとのことだ。

調査を進めていくと、まだ増えるかも知れない。

近隣の新しいマンションにお住いの人と、情報交換することがあった。

そこは、免震装置が付いたマンションだ。

「地震はどんなでしたか？」とお聞きしましたら、「ドーンと突き上げるような縦揺れの後、ゆっくりと左右に揺れて、被害は何もありませんでした。」とのことだ。

さすが免震だ！

旧耐震の我が家では、ドーンと突き上げるような縦揺れの後、これでもかというようにガタガタガタと揺れて、本棚の上の物が落ちたり、額縁も落ちたり、吊った植木鉢が揺れて砂をまき散らしたり…凄かったですから。

やっぱりこれからは免震だなと感心しました。

(17日目) 2018.7.4

今回の震源地は、「高槻市西面南3丁目」だそうだ。

地図の中央右が高槻市の南部。左上が茨木市、左下が摂津市で、その3つの交点の右に「高槻市西面南3丁目」がある。「さいめみなみ3丁目」と呼ぶのだそうだ。

番田水路を一つ越えれば茨木市で、私のマンションまで2Km余りだから、かなり近いことになる。



茨木市のホームページに、地震に関する情報提供として、危機管理課から「茨木市被災者支援制度一覧」が示されています。

罹災証明書、住まいに関する専門家による相談、市営住宅の提供、ブロック塀、ボランティアの要請、市税の減免・納税猶予、義捐金などなど、たくさんの有益な情報があります。どうぞご覧ください。

<http://www.city.ibaraki.osaka.jp/saigai/42142.html>

(首藤 靖平)